

戦 評

大会名 第14回 東北クラブバレーボール選手権大会『みちのくカップ』

期日：平成29年10月22日
会場：大東体育館

6人制男子決勝戦

OSHU LEGENDS (岩手県) 2 { 25 — 21
—
26 — 24 } 0 東芝メディア機器
クラブ(青森県)

試合時間 0 時間 51 分

主 審 三浦 翔太 (宮城県)

副 審 浅利 達也 (岩手県)

戦 評

決勝は、初の決勝進出を決めたOSHU LEGENDS(岩手県代表)と昨年準優勝の東芝メディア機器クラブ(青森県代表)の顔合わせとなった。

第1セット、終盤までの点の取り合いが続いた。東芝メディア機器クラブは6番桑村、4番長内の両サウスポーの強烈なスパイクが決まる。対するOSHU LEGENDSも8番七里が190センチの長身を生かしたアタックが冴えポイントを重ね最後には、セットを先取した。

第2セットに入っても両者、終盤まで譲らず一進一退の攻防が続く。粘り強いレシーブで繋ぐ東芝メディア機器クラブは、5番セッター毛内の多彩なトス回しも光り、更に攻撃の厚みを増したが、OSHU LEGENDSも1番キャプテン小田原の高い打点から離れたアタックも決まり出し、結果26-24の接戦の末、このセットも連取したOSHU LEGENDSが初優勝を手にし、地元開催に花を添えた。

戦評者 熊谷 亨(岩手県)

岩手県クラブバレーボール連盟

戦 評

大会名 第14回 東北クラブバレーボール選手権大会『みちのくカップ』

期日：平成29年10月22日

会場：大東体育館

6人制女子決勝戦

尚絅学院大学
クラブ(宮城県) 2 { 27 — 25
—
25 — 22 } 0 ZERO
(岩手県)

試合時間 0 時間 50 分

主 審 長沼 宏明 (山形県)

副 審 高橋 志成 (秋田県)

戦 評

決勝戦での対戦は3年ぶり4回目となった、尚絅学院大学クラブ(宮城県)とZERO(岩手県)の試合。

序盤、互いに一進一退の攻防を展開するも、ZEROが3番多田らの攻撃によりリードを奪う。

終盤、尚絅学院大学クラブは10番針生らの攻撃により逆転、ZEROもデュースまで持ち込んだが、流れをつかんだ尚絅学院大学クラブが第1セットを先取した。

続く第2セットも互いに一步も譲らないまま終盤までもつれ込んだが、尚絅学院大学クラブが11番林らの攻撃が決まりリードを奪い、迎えたマッチポイント、12番石川のサーブが決まり熱戦を制し、4年ぶり7回目の優勝に輝いた。

戦評者 立野 崇陽 (岩手県)

岩手県クラブバレーボール連盟